

# 雨よけトンネルを活用した落花生の乾燥方法

～カビを防いで、ぼっちと同じ品質～



千葉県の子の風物詩である「ぼっち」は、落花生の一般的な乾燥方法です。しかし、最近の気象変動により秋の雨が多く、乾燥中の莢にカビが発生し、農家の頭を悩ませることが増えています。

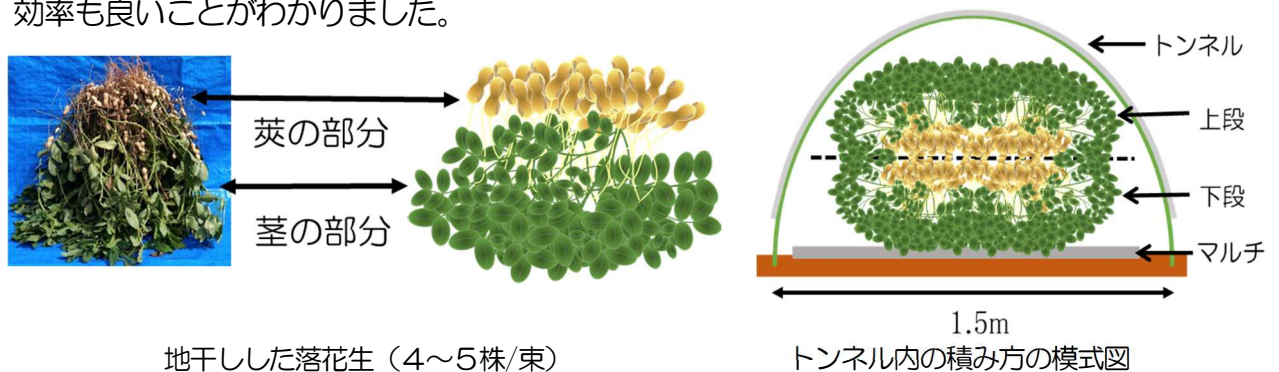
そこで、「ぼっち」の代わりに雨よけトンネルを活用して、良品の落花生が得られる乾燥方法を開発しました。

## 1 成果の内容

- (1) 掘り取りした落花生の株を逆さまにして、天日で乾燥させる「地干し」を最低 3 日間実施した後、降雨の前に雨よけトンネルに入れて乾燥を行うことで、カビを発生させることなく、「ぼっち」による乾燥と同じ品質の落花生を得ることができます。



- (2) トンネル内では、「地干し」した株の莢が内側になるように上下2段で積むと、直射日光が莢に当たらないので、「ぼっち」で乾燥した場合の品質に最も近い落花生ができ、作業の効率も良いことがわかりました。



## 2 普及の状況

八街市、富里市を中心に、スイカのトンネル資材を活用して、特にカビの発生しやすい9月に収穫を行った落花生を乾燥する際に用いられ、他の地域でも一部取り組む農家が現れています。

## 3 問い合わせ先 千葉県農林総合研究センター

落花生研究室 043-444-0676

## 4 掲載年月 平成 30 年 1 月 (令和 3 年 3 月更新)